



マーケット・レポート  
FOMC(3月16・17日)の注目点

情報提供資料  
2021年3月18日

景気見通し上方修正も、金融緩和長期維持の姿勢崩さず

- 政策金利・資産買い入れ：現行の大規模な緩和策の据え置きを全会一致で決定
- 景気見通し：ワクチン接種進展、1.9兆ドル追加策成立で2021年見通しを大幅上方修正
- 投資戦略への示唆：正常化前倒し観測は後退も、長期金利の落ち着き処の模索は続く

1. 景気見通しを大幅に上方修正する一方、パウエル議長は緩和長期化の姿勢を改めて強調

【FOMC\*での決定と声明文の注目点】

・政策金利、資産買い入れ：変更なし

現行の政策、フォワードガイダンスともに変更はありませんでした。政策金利については、『完全雇用を達成し、インフレ率が一定期間、2%を適度に上回るまで』ゼロ金利政策を維持、資産買い入れについては、『雇用・物価目標達成に向けて更に顕著な進展があるまで』1200億ドル/月規模の買い入れを続けるとしています。

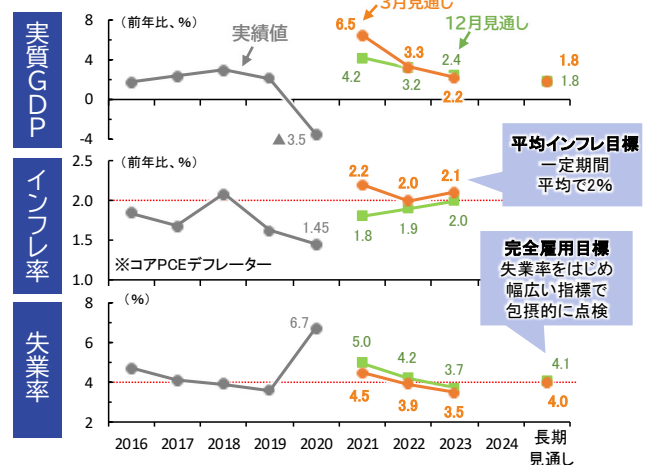
・景気見通し：大幅に改善

FOMC参加者の見通しは、先般成立した1.9兆ドルの追加経済対策を反映し、2021年を中心に大幅に上方修正されました(図表1をご参照ください)。2021年の成長率見通し中央値は4.2%から6.5%、インフレ率は1.8%から2.2%に引き上げられました。来年以降の見通しは小幅上方修正に留まりました。

・政策金利見通し：引き続き2023年末までの利上げは示されず

利上げ時期の予想を前倒しするメンバーが増加しましたが、中央値に変化はありませんでした。参加者18名中11名は2023年末までゼロ金利政策の据え置きを予想しました。

図表1. FOMC参加者の景気・物価見通し



【出所】Haver analytics, FRBの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

2. 株式市場はハト派的内容を好感も、長期金利の落ち着き処については未消化に終わる

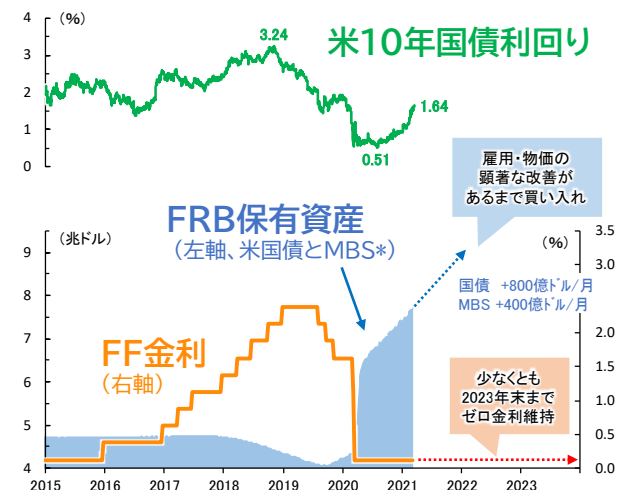
パウエルFRB\*議長は記者会見で市場の早期利上げ観測をけん制しました。先週末に成立した1.9兆ドル規模の追加経済対策やワクチン接種の進展で、先行きの景気回復期待は大幅に改善したとしながらも、“実際に回復が確認できるまでは引き締めしない”とし、資産買い入れの縮小について議論を始めるのかとの記者質問に対しては、FRBが求める『雇用・物価目標達成に向けた顕著な進展』はまだ確認できず、議論の時ではないと答えました。

市場が目目していた最近の長期金利の上昇への対応については、ECB\*の資産買い入れ加速のような具体策は示されませんでした。パウエル議長は、“無秩序な金利上昇は抑制する”と、けん制する一方、3月末に期限を迎えるSLR(補完的レバレッジ比率)緩和措置\*に関する記者質問に対しては、“数日中に公表する”として回答を避けました。

NYダウ、S&P500指数が最高値を更新する等、17日の株式市場は今回のFOMCを総じてハト派的な内容と好感したと見られます。一方、10年国債利回りが前日からほぼ変わらず1.64%で引けたことが示す通り、依然として長期金利の先高感はまだ残りました。

差し当たり上記のSLR緩和措置の延長が焦点となりますが、長期金利の落ち着きどころについては、未消化に終わった点は留意する必要があります。

図表2. 米10年債利回り、FRBの金融政策



【出所】Haver analyticsの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

\*本文、図中の\*については、最終ページの<用語説明>をご覧ください。

\*本資料の使用に際し、最終ページの<本資料に関するご留意事項>を必ずご覧ください。

**〈用語説明〉**

- \*FOMC … 連邦公開市場委員会( Federal Open Market Committee )。金融政策決定会合にあたる。
- \*FRB … 連邦準備制度理事会( Federal Reserve Board )。米国の中央銀行にあたる。
- \*MBS … 不動産ローン担保証券( Mortgage Backed Securities )。不動産ローンを裏付けとして発行される金融商品
- \*ECB … 欧州中央銀行( European Central Bank )。ユーロ圏の中央銀行にあたる。
- \*SLR(補完的レバレッジ比率)緩和措置 … 米大手銀行が保有する米国債や、FRBに預ける準備預金を、SLR算出時に除外することを認めるもの。2020年4月1日に導入され、2021年3月31日まで有効。同措置失効の場合、資本規制対応のため、銀行が保有する米国債を売却する可能性があり、市場で注目されている。

**〈本資料に関するご留意事項〉**

■本資料は、リそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■本資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、リそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡す「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。